

第4回串間市農業委員会定例総会

日 時 平成29年9月29日（金） 開始14：13 終了16：30

会 場 串間市役所3階大会議室

出席農業委員 14名

1番（会長）	川崎 善昭	6番	奥村千扶子	10番	菊永 宏親	15番	原田 俊一
2番（会長代理）	井手 重則	7番	武田 建次	12番	山崎 昭二	16番	廣見 安彦
3番	内田 政秀	8番	武田 昭一	13番	黒木 一則		
5番	瀬治山満弘	9番	谷口 利則	14番	寺迫 邦廣		

欠席農業委員 1名 11番 島田さつき

出席推進委員 15名

【福島地区】	黒木 松吾	鈴木 信	川野 昭広	西 正和	牧野 宣英
【大東地区】	野邊 敏郎	堀口 宗幸	森 幸壽	清本 良夫	
【本城地区】	中津留 厚	森本 好昭	蓑輪 正弘		
【都井地区】	上村 眞司	【市木地区】	橋口 勝彦	門内 武	

欠席推進委員 0名

議事録署名委員 6番 奥村 千扶子 14番 寺迫 邦廣

議事日程	第1	報告（合意解約）	農地法第18条第6項の規定による届出について
	第2	議案第17号	農地法第3条の規定による許可申請について
	第3	議案第18号	農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
	第4	議案第19号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
	第5	議案第20号	農用地利用集積計画の承認について（所有権移転）
	第6	議案第21号	農用地利用集積計画の承認について（利用権設定）
	第7	議案第22号	農用地利用集積計画の承認について（利用権設定・農地中間管理機構）
	第8	議案第23号	農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について
	第9	追加議案第24号	串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定について

出席事務局	5名	事務局長	吉国 保信	次長	河野 あずさ
		調整係長	酒井 尋	主任技師	古屋 雅史
				主事	川畑 裕

議長（会長）	<p>ただいまから、第４回農業委員会定例総会を開催いたします。本日は１１番委員より欠席届が提出されていますので、本日の出席委員は農業委員が１４名、農地利用最適化推進委員が１５名でございます。</p> <p>農業委員会等に関する法律第２７条第３項の規定により、過半数以上の農業委員の出席がありますので、総会が成立していることを報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、６番 奥村千扶子 委員、１４番 寺迫邦廣 委員にお願いします。</p>
議長（会長）	<p>ただちに議案審議に入ります。</p>
議長（会長）	<p>報告：農地法第１８条第６項の規定による届出について</p> <p>まず報告、農地法第１８条第６項の規定による届出について、事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>農地法第１８条第６項の規定による合意解約について報告いたします。</p> <p>今回の合意解約は２件でございます。内容といたしましては、貸人の申し出によるものが解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。</p>
議長（会長）	<p>議案第１７号：農地法第３条の規定による許可申請について</p> <p>次に議案第１７号、農地法第３条の規定による許可申請について、受付番号１番から３番の３件を議題といたしまして審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第１７号、農地法第３条の規定による許可申請は、受付番号１番から３番の所有権移転に関する３件であります。</p>

事務局

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第3条第2項各号の不許可の事由につきましては、

「第1号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であります。

今回の許可申請受付番号1番から3番の3件につきましては、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号1番の1件について、5番委員より説明をお願いします。

5番委員

議案第17号、農地法第3条の規定による許可申請について、私が調査したのは受付番号1番の所有権移転に関する1件であります。

受付番号1番について、渡人は高齢により耕作できないため、売却を行うとのこと。受人は生産牛の飼養を中心に水稻と飼料を栽培されていますが、申請地には受人が現在、ソルゴーを栽培されています。受人は後継者もいるため、将来は生産牛を増頭していきたいとのことでもあります。受人世帯の農業従事日数についても、本人が250日、後継者が180日の常時従事があるため問題なく、機械保有・労働力・技術面から見ても効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、申請地周辺は同じく飼料が作付されているため、作付の違いによる農薬散布などの問題はありますが、地域の農地の利用調整や有害鳥獣への被害防止等の活動に

5 番委員	<p>も積極的に参加されとのことでありますので、受人へ売買することに問題ありません。</p> <p>以上、受付番号 1 番の所有権移転に関する 1 件について調査しましたが、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしており何も問題ないと思います。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 2 番の 1 件について、9 番委員より説明をお願いします。</p>
9 番委員	<p>議案第 17 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>受付番号 2 番について、渡人は非農家で管理できないことから、申請地に隣接する農地を持つ受人へ無償移転し、受人は取得後にカキを植栽するとのことであります。周辺は水稻が作付けされていますが、高さのある果樹を栽培するため、草刈・剪定などの肥培管理を徹底的に行うとのことでありますので、周辺作物への影響はありません。また、収穫後は道の駅へ出荷する予定であります。地域の農道・水路管理などの共同作業に参加し、維持管理に努めるとのことであります。受人世帯においては、毎年水稻を 1.2 ヘクタール、食用甘藷 1.7 ヘクタール、マンゴー 40 アール、キンカン 15 アールの作付けを行っているため、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていかないと考えます。また、農業従事状況については、本人が 300 日・妻が 280 日以上 of 常時従事があり、問題ないと考えます。申請地の周辺については、受人世帯が水稻を作付けしており、農薬散布などの影響はありません。</p> <p>以上、受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件について調査いたしましたが、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 3 番の 1 件について、15 番委員より説明をお願いします。</p>
15 番委員	<p>議案第 17 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、私の担当する区域は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>受付番号 3 番について、渡人は去年夫を亡くされまして、本人も高齢により規模縮小を行うため、受人へ売却を行うものです。また、申請地周辺は受人の自作地であるため、受人以外に引き取り手がないということで購入されることになったようでございます。申請地の取得後は、自作地と併せて露地キンカン栽培を行うと</p>

15番委員	<p>ということでございます。受人世帯は現在、約74アールのキンカン栽培を行っているため、機械保有・労働力・技術面もあることから、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事日数に関しましても、受入本人が180日・妻が180日の従事日数があります。受人世帯は高齢であります、近々子供が帰られ農業を行うとのことですので問題ないと考えます。また、周辺農地は受入の自作地であり、キンカンがすでに作付けされておりまして、作付けの違いによる周辺農地に及ぼす影響は考えられません。農薬散布も防除基準に従うとのことであり、地域農地の利用調整にも協力を行うとのことでした。</p> <p>以上、受付番号3番の所有権移転に関する1件の調査を行いました、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>これより議案第17号、受付番号1番から3番の3件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（なしの声）</p>
議長（会長）	<p>質疑がないようですので、お諮りいたします。</p> <p>議案第17号、受付番号1番から3番の3件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第17号、受付番号1番から3番の3件は許可することに決定します。</p>
議長（会長）	<p>議案第18号：農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第18号、農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号1番の1件を議題といたしまして、審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第18号、農地法第4条第1項の規定による許可申請は、受付番号1番の1件であります。</p>

事務局	<p>農地法第4条第6項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p> <p>「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合</p> <p>「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合</p> <p>「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合</p> <p>「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合</p> <p>「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合</p> <p>であります。</p>
議長（会長）	<p>受付番号1番の1件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため、「第2種農地」に区分されることから、農地法第4条第6項1号ロには該当していません。</p> <p>したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番の1件につきましては、農地法第4条第6項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>それでは私の調査報告がありますので、議長を会長代理に交代します。</p>
1番委員	<p>それでは、会長より議長を交代いたします。</p> <p>ただいまの事務局の説明に対しまして、1番委員より受付番号1番の1件の調査報告、並びに補足説明をお願いします。</p> <p>議案第18号、農地法第4条第1項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号1番の山林転用の1件です。</p> <p>受付番号1番については、申請地が山林化し獣害を受けるようになったため、申請人の父が昭和50年頃にスギなどを無断で植林したものであり、是正措置として始末書添付により申請されたものであります。今後の管理につきましては、主な作業は南那珂森林組合に委託をするとのこととあります。申請地の2筆のうち1筆の南側が農地に隣接していますが、山林が北側にあり農地を日陰とする要因もないため、日照問題などの影響</p>

1 番委員	<p>はありません。また、それ以外の周辺は申請地と同じく山林であるため、雨水はこれまでどおり自然浸透で対応可能であることから、土砂流出による災害を発生させる恐れはありません。</p> <p>以上、受付番号 1 番の 1 件について調査をしましたが、農地法第 4 条第 6 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いいたします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第 18 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>ないようですので、採決に入る前に議長を会長に交代します。</p>
議長(会長)	<p>会長代理より議長を交代します。</p> <p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第 18 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長)	<p>異議なしということですので、議案第 18 号、受付番号 1 番の 1 件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長(会長)	<p>議案第 19 号：農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第 19 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号 1 番から 9 番の 9 件を議題といたしまして審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 19 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番から 9 番の所有権移転に関する 9 件であります。</p> <p>農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p>

事務局

- 「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合
- 「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合
- 「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合
- 「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合
- 「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合

であります。

受付番号1番から5番の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第8条第1項第1号に規定されている「第二種低層住宅専用地域」に受付番号1番から4番の4件は該当し、同法に規定されている「第二種住居地域」に受付番号5番の1件は該当するため、「第3種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。

次に、受付番号6番から9番の4件の申請地農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため、「第2種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から9番の9件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号1番から5番の5件について、6番委員より説明をお願いします。

6番委員

議案第19号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、私の担当は受付番号1番から5番の所有権移転に関する5件でございます。

まず、受付番号1番から4番の4件について、調査報告をする前に、今回の申請地を含めた譲受医療法人の全体事業計画を説明します。それでは、申請地図の6ページをお開き下さい。

6 番委員

譲受医療法人は、近年の認知患者や高齢者の増加に対応するため、地域の医療及び介護等のトータルケアを目的に、認知症治療病棟・デイサービス・有料老人ホームの経営を行っていますが、認知症入院患者及びデイサービス利用者の認知症進行の遅延や、老人ホーム入所者の健康維持やリラックス・ストレス解消などに効果があるとされる、ウォーキングなどの軽運動を取り入れられており、欧米並みの敷地を保有する散策道やパターンゴルフ場を設置した、野外訓練歩行施設を計画されています。全体計画については、薄く「全体計画」と記載されている枠内、総面積27,005㎡の取得を計画されていますが、農地取得や事業費の資金が多額になることから、毎年予算計上を行い、平成34年までの5年間で、随時取得される計画です。現在までは、平成18年に駐車場用地を、平成20年にパークゴルフ用地を、平成22年と平成25年に野外歩行訓練施設用地を整備されていますが、今回の申請と5年間で取得予定の用地はすべて、野外歩行訓練施設として利用する計画です。現在の利用者数は、入院患者・デイサービス利用者はもとより、地域住民にも開放されていますので、年間約18,000人が利用され、5年後の完成計画では、特にデイサービスの利用者増と、周辺の地域外にも開放した施設利用を行っていくため、約5万人の利用者を見込んでいるとのことでありました。また、施設内には特に東屋などの建物の計画はありませんが、利用者への配慮として、ベンチや木陰を作る目的で、樹木等の植林は行う計画であり、芝生等の管理を定期的実施するとのことでもあります。

それでは、全体計画のうち、今回、申請された受付番号1番から4番までの4件を一括して報告します。今回の申請地は、全体計画のうち、利用者の便利性と病院側に近いこと、さらに平成22年に設置された歩行訓練施設と、一体的な利用が図られることから申請されています。また、渡人は県外在住者や高齢化による規模縮小、耕作不便などの理由により、譲受医療法人への売買に了承されています。申請地は、平成29年11月10日から12月15日までに芝張りを行う計画ですが、申請地周辺は水捌けがよいため、排水等の問題は特にありませんが、農地が隣接しているため、境界に土手を設置し、土砂流出の対策を行うため問題ないと考えます。

次に、受付番号5番につきましては、申請地が市街地に近く、家賃収入などの需要が見込めることから、貸家住宅を建築したいと申請するものです。申請には北側と西側に農地が隣接していますが、北側の境界にはL型コンクリート擁壁が設置されており、擁壁の上にブロックをさらに5段積むとのこと。西側の境界にはブロック積みを行うことで土砂流出を防ぎ、生活雑排水は下水道へ接続させ、雨水は道路側溝へ排水させるため周囲に影響はなく、土砂流出・崩壊の災害の恐れはなく、問題ないと思います。駐車場はコンクリート張りにするため、市道への影響はありません。また、隣接農地の日当たりにつきましては、西側は飼料を作付けされていますが、今回の貸家住宅の配置を把握の上、了承されています。また、北側は水稻が作付けされていますが、所有者が受人の親戚にあたり、境界面に接する建築についても了解を得ているとのことでもありますので、問題ありません。

以上、受付番号1番から5番の5件について調査しましたが、5件すべてが農地法第5条第2項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）	次に受付番号7番から9番の3件について、14番委員より説明をお願いします。
14番委員	<p>議案第19号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号7番から9番の所有権移転に関する3件でございます。</p> <p>受付番号7番につきましては、申請地の周辺が山林及び原野化しておりまして、獣害の発生もあり耕作できないことから、昭和50年頃に植林及び原野化したものであります。今後につきましては、受人が林業事業の規模拡大を図るために申請地を買受け、今後は山林として管理していくとのことであります。同じく、受付番号8番・9番につきましても、同様でありまして、昭和50年頃に植林されていますので、受人が事業拡大のため買受け、山林として管理していくということで同じでございます。申請地の周囲につきましては、山林・原野であるため農地はなく、雨水等はこれまでどおり自然浸透で対応できることから、土砂流出・崩壊の恐れは考えられません。</p> <p>以上、受付番号7番から9番の3件の調査を行いました、3件すべてが農地法第5条第2項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから問題ないと思われまいます。皆様のご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	次に私の調査報告がありますので、議長を会長代理に交代します。
議長（会長代理）	<p>会長より議長を交代します。</p> <p>それでは受付番号6番の1件について、1番委員より説明をお願いします。</p>
1番委員	<p>議案第19号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号6番の所有権移転に関する1件です。</p> <p>受付番号6番につきまして、申請人は伐採・販売までの林業経営を営んでおられます。従業員が11名程度おられますが、駐車場が不足していることから、自宅兼事務所に近い申請地を従業員駐車場として利用することとあります。申請地の東側・南側は住宅、西側・北側は道路であり農地はありません。駐車場としての利用に当たっては砂利を敷き詰め、隣接地との幅を十分とりますが、東側と南側は隣接する土地より、1.5メートルの高台になっているため、車止めを設置するなどの安全対策をするとのことであります。排水については、自然浸透及び西側にある道路側溝へ流すなどの排水対策を行うとのことでありますので、土砂流出・崩壊などの災害発生などの問題はないと思われまいます。</p> <p>以上、受付番号6番の1件の調査を行いました、農地法第5条第2項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから問題ないと思われまいます。皆様のご審議をお願いします。</p>

議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第１９号、受付番号１番から９番の９件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>ないようですので、採決に入る前に議長を会長に交代します。</p>
議長（会長）	<p>会長代理より議長を交代します。</p> <p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第１９号、受付番号１番から９番の９件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案第１９号、受付番号１番から９番の９件は許可相当とし、受付番号７番から９番の３件は宮崎県常設審議委員会へ意見聴取を求め、受付番号１番から６番の６件は意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長（会長）	<p>農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案</p> <p>次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてであります。審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>平成２９年９月分につきましては、串間市長職務代理者より平成２９年９月２１日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。</p> <p>内容につきましては、議案第２０号・所有権移転が２件・面積が５，６６４㎡、議案第２１号・利用権設定が１件・面積が８１２㎡、議案第２２号・利用権設定・農地中間管理機構分が６件・面積が１７，３３４㎡でございます。</p>
議長（会長）	<p>それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。</p>

議案第 20 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分

議長（会長）

議案第 20 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、受付番号 1 番から 2 番の 2 件を議題といたしまして審議を行います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 20 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分の受付番号 1 番と 2 番の 2 件を説明いたします。

「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項、

第 1 号）今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること

第 2 号イ）耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること

第 2 号ロ）耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番と 2 番の 2 件については、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。

また、受付番号 2 番の譲受人につきましては、申請当時、認定農業者ではなく基本構想所得水準到達者として申請されておりましたが、平成 29 年 9 月 21 日付けで認定農業者として認定されたことを申し添えます。皆様のご審議をお願いいたします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号 1 番の 1 件について、8 番委員より説明をお願いします。

8 番委員

議案第 20 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、私の担当区域である受付番号 1 番の 1 件について報告いたします。

受付番号 1 番の 1 件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて問題なく、効率的な農業経営を行えること、また、農業経営に必要な常時従事があることなどの該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議のほどをよろしく申し上げます。

議長（会長）	次に受付番号２番の１件について、２番委員より説明をお願いします。
２番委員	<p>議案第２０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、私の担当区域の受付番号２番の１件について報告いたします。</p> <p>受付番号２番の１件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて問題なく、効率的な農業経営を行えること、また、農業経営に必要な常時従事があることなどの該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議のほどをよろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>これより議案第２０号、受付番号１番から２番の２件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（　なしの声　）</p>
議長（会長）	<p>ないようですのでお諮りいたします。</p> <p>議案第２０号、受付番号１番から２番の２件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（　異議なしの声　）</p>
議長（会長）	異議なしということですので、議案第２０号、受付番号１番から２番の２件を承認し、市へ通知します。
議長（会長）	<p>議案第２１号：農用地利用集積計画の承認について　利用権設定分</p> <p>次に議案第２１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、受付番号１番の１件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	議案第２１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分は受付番号１番の１件であります。

事務局	事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件は、先ほど議案第２０号で説明いたしました「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。
議長（会長）	説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、受付番号１番の１件について、９番委員より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。
９番委員	<p>議案第２１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、私の担当区域である受付番号１番の１件について報告します。</p> <p>受付番号１番については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及びその世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて問題なく、効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、受付番号１番の１件はすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまから議案第２１号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はありますか。</p> <p>（　なしの声　）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第２１号、受付番号１番の１件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（　異議なしの声　）</p>
議長（会長）	異議なしということですので、議案第２１号、受付番号１番の１件を承認し、市へ通知します。
議長（会長）	<p>議案第２２号：農用地利用集積計画の承認について　利用権設定・農地中間管理機構分</p> <p>次に議案第２２号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・農地中間管理機構分、みのさき地区の受付番号１番から５番の５件と、千野地区の受付番号１番の１件、合計６</p>

議長（会長）	<p>件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第２２号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、農地中間管理機構分は、みのさき地区の受付番号１番から５番の５件と、千野地区の受付番号１番の１件、合計６件であります。</p> <p>「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、先程、議案第２０号で説明しました、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号のとおりでございますが、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第２号のただし書きにより、農地中間管理機構が農地中間管理事業の実施によって利用権設定を受ける場合には、同法第１８条第３項第２号イとロにあります「農用地の全てを効率的に利用し、農作業に常時従事することが認められること」の要件に該当しなくても良いとされていることから、すべてを満たしていると思われます。</p> <p>また、みのさき地区の受付番号２番につきましては、所有者死亡により相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第４号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が５年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の２分の１を超える同意が得られていれば足りるとなっております。</p> <p>みのさき地区の受付番号２番につきましては、契約期間が５年を超えておらず、所有権を有する者の２分の１を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p> <p>まず、みのさき地区の受付番号１番から５番の５件について、８番委員より説明をお願いします。</p>
８番委員	<p>議案第２２号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定の農地中間管理機構分、私の担当区域はみのさき地区分の受付番号１番から５番の５件でございます。</p> <p>この５件は、宮崎県農地中間管理機構が借受け、地域の担い手などに再配分することで、面的集積などに取組む事業でございます。所有者に確認したところ、貸借期間・小作料の有無・貸借先等に関する貸借契約に間違いがないとのこととあります。受付番号１番から５番の５件を調査しましたが、何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に私の調査報告がありますので、議長を会長代理に交代します。</p>

議長(会長代理)	<p>会長より議長を交代します それでは千野地区の受付番号 1 番の 1 件について、1 番委員より説明をお願いします。</p>
1 番委員	<p>議案第 2 2 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定の農地中間管理機構分、私の担当区域は千野地区分の受付番号 1 番の 1 件でございます。</p> <p>この 1 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、所有者に確認したところ、貸借期間・小作料の有無・貸借先等に関する貸借契約に間違いがないとのことであります。受付番号 1 番の 1 件を調査しましたが、何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまから議案第 2 2 号、みのさき地区の受付番号 1 番から 5 番の 5 件と、千野地区の受付番号 1 番の 1 件、合計 6 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>ないようですので、採決に入る前に議長を会長に交代します。</p>
議長(会長)	<p>会長代理より議長を交代します。 それではお諮りいたします。</p> <p>議案第 2 2 号、農地中間管理機構分、みのさき地区の受付番号 1 番から 5 番の 5 件と、千野地区分の受付番号 1 番の 1 件、合計 6 件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長)	<p>異議なしということですので、議案第 2 2 号、みのさき地区の 5 件と千野地区の 1 件、合計 6 件を承認し、市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>(農業振興課 農政企画係長 入室)</p>

議長（会長）	休憩前に引き続き会議を開きます。
議長（会長）	<p>議案第２３号：農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について</p> <p>それでは議案第２３号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について議題といたします。 まず、農業振興課からの説明を求めます。</p>
農業振興課 農政企画係長	<p>議案第２３号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について説明いたします。 まず、今回の意見聴取につきましては、農地中間管理事業の推進に関する法律第１９条の「計画案の提出等の協力」ということで、農地中間管理機構が農用地利用配分計画を定める場合、市町村に対して農地等の保有及び利用に関する情報の提供ということ、必要な協力を求めるものとするということになっております。それと併せて、同法第１９条第３項に「市町村は協力を行う場合において、農業委員会の意見を聞くものとする」となっていますので、今回、農地地番・面積・所有者氏名・賃借権の有無などの確認を含めて、意見聴取をお願いするものであります。</p> <p>それでは内容について説明いたします。今回の配分計画（案）の意見聴取ということで、みのさき地区及び千野地区分を提出しています。まず、みのさき地区農用地利用配分計画（案）・初田地区の再配分につきましては、平成２８年度までは耕作している人がいましたが、体調不調から耕作できないため、地元で新たに設立されました農事組合法人へ再配分を行うという内容であります。</p> <p>続きまして、同じく初田地区の新規分でございますが、平成２８年度までは所有者が耕作を行っていましたが、高齢化等により本年度からは先ほどの農事組合法人へ貸したいとの希望がありましたので、今回配分計画を提出しております。</p> <p>続きまして、みのさき地区・谷ノ口地区の再配分につきましては、これまで作付けを行っていた農業者が、農事組合法人の代表者になられたため、今後は法人が経営を行うことになったことから、再配分を行うものであります。</p> <p>続きまして、同じく谷ノ口地区の新規分につきましては、これまで所有者が飼料を作付けし、管理していましたが、法人の設立を機に、法人への貸付を行うというものであります。</p> <p>続きまして、みのさき地区・田淵地区の再配分につきましても、新たに農事組合法人が設立されたため、地元法人へ管理を任せるということで再配分を行うこととなりました。</p> <p>続きまして、千野地区農用地利用配分計画（案）・新規分につきましては、所有者が県外在住者であります。千野地区につきましては、平成２８年度に地域一帯で農地中間管理事業に取り組んだところでありますが、今回の新規分４筆につきましては、当時、小作料の調整ができなかったところでありますが、今回、了承を得ることができたため、新規で配分計画（案）を提案させていただいたところであります。</p>

農業振興課 農政企画係長	<p>最後に、今回、新たに設立された農事組合法人が農地の貸借を行いたいとのことでありますので、法人の説明をさせていただきたいと思います。この法人につきましては、初田・田渕・谷ノ口の3地区をエリアとする「みのさき地区農用地利用改善団体」がありますが、団体内で協議を行い、有志20名が構成員となり、法人を設立しております。設立年月日が平成29年3月30日ということで、構成員は20名となっています。うち役員が9名ありますが、この役員すべてが農用地利用改善団体の役員9名と同じメンバーであります。この農事組合法人が配分決定後に行う経営面積は34,268㎡であります。基本的に農業機械は役員が所有する機械を利用して実施するということから、法人による機械の所有はありません。また、農事組合法人が行う事業につきましては、農業経営、農作業の共同化、農畜産物の貯蔵・運搬・加工・販売、農作業の受託等の事業を行うとされています。この役員9名の農作業の種類といたしましては、基本的に飼料生産を行うということで、それに伴う耕運・播種・田植え・刈取り・草刈等となっています。作業日数につきましては、60日程度となっています。農事組合法人の概要については以上です。</p>
議長（会長）	<p>次に、みのさき地区の譲受法人は新規参入であり、経営地もなく、農地貸借等が初めてでありますので、農地所有適格法人の要件等について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>農地所有適格法人の概要について説明いたします。</p> <p>【農地所有適格法人の要件説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農業法人の仕組み ②会社法人と農事組合法人の違い ③事業要件 ④出資者要件 ⑤役員要件 ⑥農事組合法人の根拠法 <p>農地所有適格法人の要件の審査は、農地法第3条の許可申請や農用地利用集積計画作成の時点で行うこととしています。通常、法人を作る際には法務局で法人登記を行えば法人化されますが、農地の使用収益権を持つ農地所有適格法人になるかどうかは、法人要件を含め農業委員会の総会で農地法第3条等の受け手の要件である、経営農地をすべて効率的に利用すること、50アールの経営があること、農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面が確保できていることなどを総会で審議・決定した法人が、農地所有適格法人として取扱うこととなります。</p> <p>今回の農事組合法人につきましては、法人要件を満たしており、農地法第3条の許可要件に沿った事業を行うため問題ないと思われます。皆様のご審議をお願いします。</p>

議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。それでは、ただいまから農業振興課及び事務局からの説明に対し、質疑に入ります。質疑はございませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>ないようですので、担当課の退席を求めます。</p> <p>また、当該議案の審議につきまして、私に関する推薦団体の事案がありますので、農業委員会等に関する法律第31条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了まで退室し、議長を会長代理と交代いたします。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>（ 1 番委員 退室 ）</p> <p>（ 農業振興課 農政企画係長 退室 ）</p>
議長（会長代理）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>ただいま、会長が退室されましたので議長を交代いたします。</p> <p>それでは、ただいまの説明に対しまして、委員の皆さんより意見を求めたいと思いますが、まず、「千野地区農用地利用配分計画（案）」について、本城地区会長であります12番委員に意見を求めたいと思います。</p>
12番委員	<p>今回の千野地区農用地利用配分計画（案）が本城地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。</p> <p>「千野地区農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある貸借権の設定を受ける者が、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第4項第3号</p> <p>イ：耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること</p> <p>ロ：耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること</p> <p>に該当しているか、担当地区委員の意見を聞き取り、本城地区委員会で協議してまいりましたが、今回の「千野地区農用地利用配分計画（案）」は該当しているため、問題ないと思われます。以上、報告します。</p>
議長（会長代理）	<p>ただいま12番委員から出された意見は、農用地利用配分計画（案）にある借受者が、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第4項第3号に該当しているため、問題ないとの意見でありました。</p>

議長(会長代理)	<p>他に意見はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第２３号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について、「千野地区農用地利用配分計画（案）」は、１２番委員から出された意見を付して、妥当であると市へ通知することに異議はありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>異議なしということでありますので、議案第２３号、「千野地区農用地利用計画（案）」は出された意見を付して、農用地利用配分計画が妥当であることを市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します</p> <p>(１番委員 入室)</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開くとともに、会長代理より議長を交代します。</p> <p>それでは、「みのさき地区農用地利用配分計画（案）」について、まず、担当委員であります８番委員より意見を求めます。</p>
８番委員	<p>みのさき地区農用地利用配分計画（案）について、意見を述べさせていただきます。</p> <p>計画にあります賃借権の設定を受ける者は、農業者が設立した農事組合法人ではありますが、使用収益権がないため、現在は法人化のみの組合法人であります。しかし、農業振興課及び事務局からの説明にもあったとおり、農地所有適格法人の要件及び経営農地の全部利用効率要件等を満たしていることから、農地所有適格法人として取扱うことは、妥当であると考えます。</p> <p>そのため「みのさき地区農用地利用配分計画（案）」は、農地中間管理事業の推進に関する法律第１８条第４項第３号</p> <p>イ：耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること、</p> <p>ロ：耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められることに該当すると思われるため問題ありません。以上、報告します。</p>

議長（会長）	<p>それでは、８番委員から出された意見につきまして、先ほど説明のあった農用地利用配分計画（案）にある借受者が、農地中間管理事業の推進に関する法律第１８条第４項第３号に該当見込みであるため、問題ないとの意見でありました。</p> <p>他に意見はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第２３号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について、「みのさき地区農用地利用配分計画（案）」は、８番委員から出された意見を付して、妥当であると市へ通知することに異議はありませんか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第２３号、「みのさき地区農用地利用計画（案）」は出された意見を付して、農用地利用配分計画が妥当であることを市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>（ 追加議案資料配布 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p>
議長（会長）	<p>追加議案第２４号：串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定について</p> <p>ただいま、配布されました追加議案第２４号、串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定について、議案といたします。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>それでは、ただいまお配りいたしました追加議案第２４号、串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定についてご説明します。</p>

事務局

今回の提案理由といたしましては、農業委員会等に関する法律第7条第1項の規定に基づき、串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を策定するものでございます。

提案内容といたしましては、農地等の利用の最適化業務であります、遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地集積・集約化、新規参入の促進である3項目について、各専門部会において8月に協議されました具体的な目標及び推進方法をご提案するものでございます。今回の指針を定める場合には、同法第7条第2項において農地利用最適化推進委員の意見を聞かなければならないとされていますので、両委員から意見を出していただきたいと思います。また、この指針を策定した場合には、同条第3項において遅滞なく公表しなければならないとされていますので、策定次第、市公式サイトで公表する予定でございます。

それでは、今回の指針（案）についてご説明いたします。今回の指針は第1に基本的な考え方、第2に具体的な目標と推進方法について、策定を行うものでございます。

まず、指針（案）の上段に平成29年9月29日と日付を記載していますが、本総会でこの指針が決定された場合は、審議・決議を行った日ということで、本日の日付を記載しているところです。

次に、第1基本的な考え方といたしまして、串間市の農業の現状から農業者の減少し、また有害鳥獣被害により遊休化が進んでいる状況でありますので、農地中間管理事業を活用しながら担い手への集積及び遊休農地解消に取り組むと明記したところでございます。

次に、第2にあります具体的な目標と推進方法について、農地等の利用の最適化の推進に関する3項目を明記していますが、こちらは各専門部会で協議された内容となっています。目標数及び具体的な取り組み内容につきましては、各専門部会長より報告していただきますので、内容を確認の上、皆様のご審議をお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

ただいま事務局から説明のありました、8月開催の農地利用最適化推進会議において、各専門部会で協議された内容を部長より報告していただきます。

まず、遊休農地解消対策部会長より説明をお願いします。

8番委員
遊休農地対策
部会長

遊休農地解消対策部会より報告いたします。

農地等の利用の最適化の推進に関する指針のうち、遊休農地解消対策部会では、遊休農地の発生防止・解消について指針（案）を作成しましたのでご報告いたします。

まず、遊休農地の解消目標であります、平成29年度7月の管内の農地面積が3,206ha、遊休農地面積が76ha、遊休農地の割合が2.37%となっております。3年後である平成32年7月の農地面積が3,182ha、遊休農地面積が51.5ha、遊休農地の割合が1.62%でございます。最終目標である平成35年7月の農地面積が3,151ha、遊休農地面積が20.7ha、遊休農地の割合が0.66%と大きい数字となっております。この農地面積は、その年に国から発表される耕地面積に、遊休農地面積を足したも

<p>8 番委員 遊休農地対策 部長</p>	<p>のを農地面積としています。年間の解消目標数については9 h a に設定しましたが、これは5年後の平成34年に遊休農地率を1%未満とするために設定した面積でございます。</p> <p>次に、遊休農地の発生防止・解消の具体的な推進方法についてであります。まず、農地の利用状況調査と利用意向調査の実施についてであります。農業委員と農地利用最適化推進委員の両委員による一体的な推進体制の確立を行い、調査の徹底を図るとしております。これらの時期についてであります。利用状況調査は毎年7月上旬までに、利用意向調査は10月末までに実施することとしております。また、各地区の農用地利用改善団体の話し合いの場に随時出席して、解消目標の共有を図りながら、耕作放棄地再生利用対策事業等を活用した遊休農地解消のための活動を図ってまいります。</p> <p>次に農地中間管理機構との連携については、利用意向調査の結果を受け、農家の意向を踏まえた農地中間管理機構への貸付け手続きを行うとしています。</p> <p>最後に、非農地判断を実施するに当たり、9月から11月の間に取りまとめを行い、12月から1月上旬にかけて速やかに非農地判断を行い、守るべき農地を明確化していくとしています。</p> <p>以上、遊休農地解消対策部会の報告を終わります。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>次に、農地集積対策部会長より説明をお願いします。</p>
<p>5 番委員 農地集積対策 部会長</p>	<p>農地集積対策部会より報告いたします。</p> <p>農地集積対策部会では、担い手への農地集積・集約化について検討しましたが、集積目標を平成29年7月の33.99%に対し、3年後の平成32年が39.82%、平成35年が46.82%としたわけですが、今後の活動方針及び実績等で修正が生じることがあれば、指針の変更も検討していきたいと考えています。</p> <p>次に、担い手の育成・確保については、認定農業者が現在367経営体、3年後の平成32年に380経営体、平成35年に396経営体としていますが、現在は皆さんもご存知のように補助事業や制度資金の借受けなどは優先して認定農業者でなければいけないというところまでできていますので、比較的達成できるのではないかと考えています。</p> <p>次に、担い手への農地の集積・集約化に向けた具体的な推進方法として、まず、基本になります「人・農地プラン」の見直しを行っていききたい。その充実を図るために、地域の農地の出し手を見つけて、これを具体的に取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>次に、農地中間管理機構等との連携について、機構との連携を十分に図っていく必要があると考えます。</p> <p>次に、農地の利用調整と利用権設定について、今から貸借契約を結ぶ分については推進を図っていかなければなりませんが、認定農業者以外の農業者と貸借契約をされていない分について、ここをどう進めたらいいのかなというのを検証していくべきではないかと考えますが、農地中間管理事業を通した契約促進を行っていく必要がありますし、それを進めていければ、集積率が伸びるのではないかと考えます。</p>

<p>5 番委員 農地集積対策 部会長</p>	<p>次に、農地台帳の整理についてですが、リスト化された未契約の農地を、毎年2月から3月にかけて調査していきたい。そして、耕作者に戸別訪問を行って、利用権設定を推進していきたいと考えます。</p> <p>最後に、認定農業者の推進についてですが、認定農業者の資格の可能性のある方を、戸別訪問により推進していきたい。補助事業や制度資金には認定農業者が必須ですので、比較的推進しやすいのではないかと考えます。</p> <p>以上、農地集積対策部会より報告いたします。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>次に、農業委員会業務対策部会長より説明をお願いします。</p>
<p>10 番委員 農業委員会業務 対策部会長</p>	<p>それでは、農業委員会業務対策部会よりご説明いたします。</p> <p>新規参入者数の目標根拠といたしましては、施設栽培と露地栽培の二通りで考えています。まず、新規参入が想定される主要品目の経営開始時の取得面積の平均として、施設栽培においては、本市の基幹作物のきゅうり・ピーマン・キンカン・マンゴーを想定した中で20アール、露地野菜については水稻を中心としたオクラ・ごぼうや食用甘藷を想定とし、農家要件である50アールを基準として、70アールを想定した中で設定したところでございます。また、南那珂の栽培管理指針によりますと作物別に指針が出ていますので、これらも参考に新規参入者の取得面積の平均を設定しております。ただ、施設栽培で新規参入を行う場合には、施設投資を行うのか、あるいは遊休施設を活用するのかという問題がありますけれども、一番早く就農できるのは、やはり、遊休施設を利用する場合ですので、地権者と協議することでスムーズに参入できると考えます。今後は遊休施設の所在確認や農業者の離農の情報を把握することで、新規就農者等へあっせん等が可能になると思いますので、関係機関を交えたシステムの構築をする必要があると考えます。また、タイミングによっては、制度事業があればその仲間に入って新規参入するという方法もございますので、新規参入者には随時対応をしていきたいと思っております。</p> <p>次に法人の場合には、将来的に地域での営農集団等による設立等を考慮したところです。現在、農家戸数の減少の中で、地域の農業者による法人等の設立をしながら、今後、農地を守っていくべきではないかという考えのもと、法人の推進等における目標設定をしたところでございます。</p> <p>次に、平成35年7月時の目標ということで、新規参入が5名、法人が2法人という目標を設定しております。ただ、一番問題なのが、部会のなかで新規参入の推進を協議しましたが、まずは住むところの整備、または家族がいる場合は子供の保育関係など、移住に関する様々な問題が出てきます。農業委員会でこの設定を行う以上は、行政の力がないとできないと思っています。ただ、数字を上げればよいという問題ではないと思っています。やはり行政の定住促進のなかで、「農業分野はこういうものがありますよ」という対応が必要となりますので、農業委員会だけの問題ではないと思います。そのため、行政の農業振興課とのタイアップも必要だと考えています。担い手育成には新規参入も含め、大きな問題であると思っていますけれども、一応、指針</p>

10番委員 農業委員会業務 対策部会長	における目標設定は、そのような考えのなかで整理しましたし、今後、目標達成を現実的なものとするためには、いろんな勉強会をやりながら推進していく必要があるだろうというふうに思っていますが、目標設定については部会としてこのような考え方で決めたところです。そのようにご理解していただきたいと思います。
議長（会長）	<p>ただいま、各専門部会長より指針項目である、目標及び具体的な推進方法について報告がありました。農業委員会等に関する法律第7条第2に基づき、農地利用最適化推進委員及び農業委員の皆さんの意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>それぞれ部会で目標や推進方法を検討されたと思いますが、今説明を受けたばかりですので、質問等も難しいと思いますが、事務局から説明があったとおり、本総会で承認をされた場合には、速やかに公表していきたいとのことでありますので、各部会でその部会の目的に沿った内容の協議を行っていただいたわけですが、今後指針に沿った活動を行っていく中で、活動に合わないものは変更すべきでありますので、出された意見を参考に変更や追加などを臨機応変に対応しながら、計画を立てて活動していくべきだと思いますので、それを理解しながら皆さんから意見があれば出していただきたいと思いますが、何かありませんか。</p>
議長（会長）	<p>（ 意見なし ）</p> <p>今回出された指針の目標設定については、それぞれの部会で厳しいだろうという判断をされていると思いますが、3年後・5年後の目標達成にむけて努力していかざるを得ないと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。また、具体的に各部会で、今後の活動内容に沿った目標設定や推進方法を詰めてしていかなければならないと思いますので、必要に応じて部会研修会を開催しながら、どういったら具体的に進んでいくだろうかと検討していただきたいですし、また8月に実施した農地の利用状況調査の集約した結果によっては変更も必要になるのではないかと思いますので、その際に具体的な検討をしていただきたいと考えます。その利用状況調査の結果はいつ頃ですか。</p>
事務局	10月に報告したいと考えています。
議長（会長）	<p>一応、8月いっぱいでも実施しました利用状況調査の結果については、10月総会で報告できるということですから、平成28年度からどのように変わったかによって、見直しを行う必要が出てくるかもしれませんので、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、意見がなければ決定したいと思いますが。</p>

10番委員	<p>農業委員会事務局長兼農業振興課長がいらっしゃいますので、1つだけお聞きしたいことがあります。</p> <p>この示されている農地面積は、何年前の面積ですか。一生懸命、遊休農地解消に努めていても、この農地面積が減少しないと遊休農地率が下がりません。</p> <p>また、串間市農業振興地域整備計画もいつ、見直しを行うのかお聞きしたい。一生懸命、遊休農地解消の活動を行っても面積が減少しない限り、遊休農地率も下がらないと思いますが。</p>
議長（会長）	<p>今、10番委員から出たように分母が減らないのかということではありますが、農地面積については農林業センサスがあったり、農地台帳の面積があったりと様々ありますが、この指針では何の数字を活用していますか。</p>
事務局	<p>農業委員会が扱う農地面積については、農林水産省が公表している耕地面積を活用するよう、県内の農業委員会は統一されています。その耕地面積は、平成28年は3,130ha、平成27年は3,140haと減少していますが、毎年調査が行われ、耕作されている農地が減少した場合には、耕地面積の見直しが行われているようでございます。</p>
議長（会長）	<p>県内の農業委員会では、農林水産省の統計を活用しているということですが、現実としてなかなか大きく変更されない状況ではあるようです。今回は基本的に分母をいかに下げるかという話であります。</p>
農業振興課長	<p>今、意見が出されたようにいろんな数字が混在しております。農業振興課が取組んでいる「農業振興基本計画」では、基本的に農林業センサスを活用するとしておりますので、農業委員会が活用する数字と合わないということも出てきますが、現在基本計画の見直しをしていますので、なるべく整合性のとれるような形でやっていきたいと思っております。</p>
議長（会長）	<p>そういうことですので、数字を整理していくということで行政側も農業委員会の数字との整合性を取れるよう努力していただきたいですし、今意見にも出されたように、新規就農者対策として受け皿をどうするのかという問題もありますので、しっかり取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>他に意見はありませんか。</p> <p>（意見なし）</p>
議長（会長）	<p>それでは、意見もないということですので、お諮りいたします。</p> <p>ただいま、この内容で串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を内容のとおり、策</p>

議長（会長）	<p>定することに決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、串間市農業委員会「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を策定いたします。</p> <p>それでは、先ほどいろんな意見が出されているように、今後の活動等によって指針の見直しを行うことも必要かと考えていますので、その際は総会で提案したいと思いますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、この指針は農業委員会等に関する法律第7条第3項の規定に基づき、市公式サイトにて公表いたします。</p>
議長（会長）	<p>以上で議案審議は全部終了しました。</p> <p>慎重・審議、誠にありがとうございました。</p>
議長（会長）	<p>以上を持ちまして、第4回農業委員会定例総会のすべてを終了いたします。</p> <p>次の総会は、10月31日（火曜日）に開催いたします。よろしくお願いします。</p>

平成 2 9 年 9 月 2 8 日

1 番 (会長)

2 番 (会長代理)

議事録署名委員

6 番

1 4 番